2024年市民活動重大ニュース【分野:国際協力・国際交流・多文化共生】

	月日	項目	解説	執筆者
1	2024年1月1日	能登半島地震被災者支援に国際協力NGOも参加	ピースウィンズ・ジャパン、パルシック、SVA、AARなどのNGOも支援に入る。	楯 晃次
2	2024年2月9日	移住者と連帯するネットワーク(移住連)等が「改正出入国管理法」の審議に対する反対キャンペーン展開		長谷川 雅子
3	2024年3月24日	「未来アクションフェス～今、ここから、持続可能な未来への行動を～」開催	SGI(創価学会インターナショナル)ユースなど核廃絶や気候危機に取り組む団体が実行委員会の主催で、9月の国連未来サミットを念頭に核兵器廃絶や気候危機の解決に若い世代で連帯を呼びかけ。	大橋 正明
4	2024年3月	スウェーデン政府のCSO(市民社会組織)支援策大幅変更に対してNGOが意見書提出	JANIC(国際協力NGOセンター)も参加するDAC(OECD開発援助委員会)市民社会レファレンスグループが本件に関する書簡を発表。	長谷川 雅子
5	2024年4月	ガザでNGOスタッフが死亡	イスラエル軍の攻撃によってガザ地区で国際的なNGOのスタッフ7名が死亡、12月にはセーブ・ザ・チルドレンのスタッフも1名殺害された。	
6	2024年5月9日 ～10日	ナイロビで「国連市民社会会議」開催	このUN Civil Society Conferenceでは、主に9月の未来サミットの課題が議論され、日本からはSDGsジャパンの小松真理子やJANIC若林秀樹が参加。	
7	2024年5月14日 ～15日	イタリアでC7(Civil7)開催	日本アフリカ協議会の稲場雅紀、JANICの堀内葵などが参加。参加に向けたクラウドファンディングを実施。	大橋 正明
8	2024年6月28日	国連未来サミットに向けた外務省と市民社会の意見交換会を実施	SDGsジャパン有志の主催で、外務省と市民社会が、未来サミットや、未来サミットで採択される予定の成果文書「未来のための協定(Pact for the Future)」に関する意見交換を行う。	
9	2024年9月22日 ～23日	ニューヨーク国連本部で未来サミット開催	日本からはSDGs ジャパン小松真理子と大橋正明、JANIC若林秀樹、JACSES(環境持続社会研究センター)足立治郎、ワールドビジョン柴田哲子 JYPS(持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム)川和ニコラ、SGIの永井忠などが参加。	
10	2024年10月	経済同友会がNPO連携に関する手引書作成	この手引書に加えて、外務省NGO研究会でもNGOと企業の連携がテーマとなるなど、企業と市民社会との連携が話題になった。	長谷川 雅子

2024年市民活動重大ニュース【分野:国際協力・国際交流・多文化共生】

	月日	項目	解説	執筆者
11	2024年12月1日	JANICが事務所をアバコビルより転出	港区のシェアオフィス「mingle」に入居。	長谷川 雅子
12	2024年12月4日	CIVICUSの市民スペースモニターで日本のランクがアップ	南アフリカにあるグローバルな市民社会組織のネットワークCIVICUSの評価で、日本がバングラデシュやフィジー等と共にアップグレードされる。	大橋 正明